

鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合に関する説明会会議録

日時 令和6年12月22日（日）
午前9時～午前10時20分
場所 牛島小学校 体育館
出席者数 30人

次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 説明
 - (1) 生徒数及び学級数の推移予測
 - (2) 鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会の提言
 - (3) 鴨島東中学校の統合に関するアンケート結果
 - (4) 統合に関する方針
 - (5) 統合準備委員会の体制（案）
- 4 質疑応答
- 5 教育長あいさつ
- 6 閉会

会議の経過

事務局から説明	(1) 生徒数及び学級数の推移予測 本年度の鴨島東中学校の生徒数は、通常学級106人・特別支援学級14人の合計120人で、2年生が1クラスとなっている。 令和9年度には、すべての学年で1クラスとなる見込みであり、令和18年度には本年度の約半数の63人になる見込みである。 鴨島東中学校と鴨島第一中学校が統合した場合の生徒数は、令和9年度では通常学級387人・特別支援学級42人の合計429人で、計13クラスになる見込みである。 両校が統合した場合、1学年3クラス以上を確保できる見込みであり、望ましい学級数を維持できると考えている。 (2) 鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会の提言 検討委員会から「鴨島東中学校は、鴨島第一中学校と統合し、生徒にとってより望ましい教育環境を早急に実現すること。」、また、「牛島小学校及び森山小学校は、直ちに学校再編の必要性はない。」との提言をいただいた。 また、統合に当たっての「留意事項」として、学校運営の円滑な移行に取り組むこと、できるだけ早期に方向性を示し統合すること、通学支援や通学路の安全対策についてのご意見をいただいた。
---------	---

(3) 鴨島東中学校の統合に関するアンケート結果

対象者437人中234人の方から回答があり、回答率53.5%、「統合に賛成」が51.3%、「統合に反対」が28.6%、「どちらともいえない」が20.1%となった。

「賛成」の理由は、生徒数を理由とするもの、「反対」の理由は、通学距離を理由とするもの、「どちらともいえない」の理由は、通学距離や通学支援を理由とするものが最も多い結果となった。

(4) 統合に関する方針

「鴨島東中学校は、鴨島第一中学校と統合する。」「統合の時期は、令和9年4月1日」、「統合校の位置は、現在の鴨島第一中学校の場所」との方針を決定した。

基本的事項について、「統合の時期」は、令和9年度にはすべての学年で1クラスになる見込みであること、統合の準備に2年は必要であることから令和9年4月1日とした。

「統合校の名称及び校舎」について、学校の名称は生徒及び保護者の意向を十分に踏まえる必要があることから、準備組織の中で協議する。また、校舎は鴨島第一中学校校舎を使用し、空き教室の改修で対応する予定である。

「通学区域」は、鴨島地区全域となる。

「通学への対応」は、通学の負担が著しく増える生徒に対しては、スクールバスを念頭に必要な支援を検討する。通学路の安全対策も学校の協力も得ながら必要な措置を講じる。

「統合に向けた交流活動」は、新しい環境へのストレスを少しでも緩和し、両校の生徒が学校生活を円滑に開始できるよう、統合までの2年間、様々な交流活動に取り組む。

「準備組織」は、準備組織を設置し、教育計画や通学体制等の必要な事項について協議する。

(5) 統合準備委員会の体制（案）

教育計画や通学支援などの統合に向けて必要な事項を協議する「統合準備委員会」を設置し、「総務部会」、「学校運営部会」、「通学部会」、「PTA部会」を設ける。

令和7年4月の設置を目途に、本年度中に各部会の人選や、具体的な協議事項の洗い出しを行う予定である。

【令和6年12月9日付けの質問事項に対する回答】

○JRや公共バスで通学する場合、公的な補助は受けられるか。

→利便性の観点から、スクールバスによる通学支援が望ましいと考えている。教育委員会としてもスクールバスの導入は、最優先事項と考えており、準備委員会においてできるだけ早期に詳細内容を決定し、車両や運転手確保の目処がたてば、前倒しの運行についても検討してまいりたい。

○部活動について、令和7年度より合同チームで実施することは可能であるか。

→統合前から合同・統一チームで活動することは、生徒同士の交流も深まり、メリットも大きいため、中学校体育連盟に要望する。

○令和6年度中に準備組織を設置し、令和7年度準備を丁寧に進めることは考えているか。

→教職員の人事異動やPTAの役員交代などを考慮し、令和7年4月に設置することを考えている。それまでに人選や協議事項を洗い出し、4月からスムーズに準備委員会が運営できるよう努める。

○入学する中学校の選択は、いつまでに決める必要があるか。

※変更はいつまで受け付けてくれるか。

→締め切りは令和7年1月末日であるが、間に合わない場合は教育委員会へご相談ください。

○校区外申請について、申請理由を「令和9年度統合のため」として受理していただけるか。

→可能。また、変更基準には他の事由もあるため、それぞれのご家庭の事情に沿った内容で指定学校変更申立書を提出いただく場合もある。

【要望事項に対する回答】

○早期にスクールバスを配置してほしい。

→令和7年度に車両や運転手の確保まで完了させることは困難だが、できる限り早期に通学支援の内容を固め、導入準備を進めてまいりたい。

○準備組織を早期に設置し、令和7年度準備を丁寧に進めてほしい。

→令和7年4月に準備委員会を設置し、丁寧に準備を進めてまいりたい。

○現時点で、鴨島東中学校に入学する生徒の人数を速やかに共有してほしい。

→保護者の皆様の了解をいただけるのであれば、ある程度の割合をお伝えすることは可能。

※保護者の皆様の了解が得られたため、公表

牛島小学校においては、約6割弱の方が鴨島東中学校への進学する見込み。

○統合に際しては、クラス編成や小集団授業など、安心して学校生活を過ごせるようにしてほしい。

→生徒間の事前交流や教員の配置などに配慮しますが、その他の事項についても生徒や保護者の皆様のご意見を伺いながら進めてまいりたい。

○部活動について、令和7年度より鴨島地区で一つの部として活動をし、大会への参加ができるようにしてほしい。

→中学校体育連盟へ要望していく。

○令和9年度については、鴨島東中学校の教員が、統合校に配属されるよう配慮してほしい。

→県教育委員会へ強く要望していく。

○早期に通学路の安全対策を進めてほしい。※街灯、交差点周り等の安全対策

→通学部会で通学路の安全対策を協議し、学校関係者だけでなく、道路管理者や警察の協力も得ながら、早期の対策を講じていく。

【その他に対する回答】

質疑応答

○中学3年生での統合は、受験があることや新たな人間関係を築くことなど多くの不安がある。早期に交流や協働活動を計画し、2年間で丁寧に進めてほしい。
→新しい環境によるストレスをできる限り緩和できるよう、ICTを活用した合同授業や行事の合同開催、部活動の合同チームなどの交流活動に取り組み、令和7年度から順次実施していく。

○制服のリユースを積極的に進めてほしい。制服等に関する補助を検討してほしい。
→統合時に制服や体操服の変更（購入）が必要となる生徒に対しては、リユースや購入支援を前向きに検討することとしている。

【以下質疑応答】

○統合後の鴨島第一中学校の制服はどうなるのかを協議しておいてほしい。
→制服を変更することについては、準備委員会でアンケートを実施するなど生徒や保護者の皆様のご意向を伺い、対応していく。

○鴨島東中学校区が吸収されるという感覚がある。学校名は非常に大事で、みんなが納得する良い学校名をしっかりと考えていただきたい。
教育内容の充実が第一である。教育を充実できる体制づくりが学校教育の本質で、その点から統合には賛成。

○アンケートに回答していない方が、どのように思っているのか気になった。
48.7%の人が賛成ではない、という結果で統合の決断をしたことが疑問。
大人が子ども一人一人に、また悩んでいる保護者一人一人の心に寄り添う地道な対話をしていかないと少子化が進んでしまうのではないかと心配している。
学校現場だけに任せるのではなく、現場で子どもや保護者の声を聞いていただきたい。
令和9年度の統合で、受験と人間関係が重なる生徒に対して、どのような対応をされるのか。
スクールバスや制服についても具体的ではないので、統合を1年先延ばしにするなど、現実的に考えていただきたい。
→いじめや不登校などに対する不安を一つでも払拭できるよう、保護者・子どもたちとも信頼関係を築きながら、また学校においても両校が合同で活動する中で一人一人の個性や多様性、価値観を分かっているように、一つ一つ丁寧に進めていかなければならないと考えている。

○準備委員会で決まった内容などはどこかで開示されるのか。
進学先を決めるに当たり、情報が少なすぎる。統合に関する不安を解消するためには情報が必要。決まった事項は、教えていただいて、楽しいこととして子どもには伝えていきたい。
→準備委員会の各部会で様々な事項を決めていくことになるが、協議経過については、市ホームページが主となるが、マチコミメールなどでも保護者の皆様に対し周知していく。

○統合を理由とする指定校変更は可能か。
→可能。

○統合で、指定校変更により鴨島東中学校の生徒が少なくなったとしても、令和9年度までの2年間は、鴨島東中学校は存続するのか。

→準備期間として最低2年必要であると想定しているため、2年間は存続する。

○アンケート結果をもって話を進めていくことになるのか。「どちらともいえない」と回答した方が結構いるので、その方を特定してアンケートを取り直し、意見を精査した上で、話を進めてほしい。

通学路の安全対策やスクールバスの件も話を固めていただいて、早急に保護者に知らせてほしい。

→「どちらともいえない」と回答した方を特定することはできないため、再度のアンケートはできない。

また、「どちらともいえない」と回答した理由としては、通学支援の内容がわからない、との理由が多かった。スクールバスについては、準備委員会において早期に内容を固めなければいけないと考えているため、適宜、保護者の皆様には情報をお伝えしていく。